

社会的事象の意味について考え、表現する力を高める指導の工夫

— 討論形式による話し合い活動を通して —

社会科班 三谷 悠也 (小学校教諭)

教師の願い

単元の最後に、**討論形式による話し合い活動**を設定し、「思考力」「表現力」を高めよう！！

児童の実態

- ・社会的事象の背景について考えられない
- ・自分たちの生活とのつながりを見出そうとしない
- ・自分の考えに自信を持ってない

討論形式による話し合い活動

実践例：「もし買うなら『人にやさしい車』『環境にやさしい車』 どちら??」

事前



- ◇ 実態を考慮して意図的に立場を分ける
- ◇ 自分の考えをワークシートに書かせておく
- ◇ ワークシートに朱書きでコメントを書く (助言・賞賛)

- ☆ 偏りのない話し合いに
- ☆ 多面的な思考力 UP
- ☆ 話し合いでの自分の考えが明確になる
- ☆ 自分の考えに自信が持て、発言する意欲 UP



話し合い活動



- ◇ 2度の作戦タイムを設定する [児童への支援、児童の考えの見取り]
- ◇ タイミングよく資料を提示し話し合いを深める
- ◇ 意図的指名で話し合いをコントロールする

- ☆ 友達と考えを交流し、考えを練り直す
- ☆ 自分の考えの根拠となる資料を探す
- ☆ 新たな視点に気付く
- ☆ 児童全員が発言する

社会科見学で行ったS社ではどうだったかな？



環境にいいエコカーは、燃費がいいからお財布にもやさしいってことじゃない？！



事後



- ◇ 立場を離れ、改めて自分の素直な気持ちを考える場を設定する
- ◇ 総合的な価値判断をする場を設定する

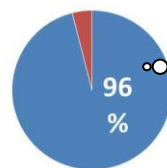
- ☆ 両方の立場の様々な考えを、比較・関連・総合して考える
- ☆ よりよい国民生活に向けた課題と解決策を自分の言葉でまとめる



児童の授業の振り返り

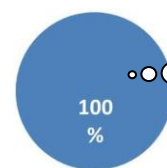
人と環境の両方が大切なことが分かった。安全と環境はつながっているのだから、生産者も消費者も安全で環境にやさしい自動車づくりを考えていくことがこれからは大切だと思った。

考えを進んで発言できたか？ (児童アンケート)



+32%

2つの立場を総合的に捉えて自分の考えを書いている (児童アンケート)



+28%

成果

- 自分の考えと友達のことを比較・関連付け・総合しながら説明し合う中で社会的事象の意味について考え、表現する力を高めることができた。
- 自分の考えと異なる立場で考えたり、2つの立場で話し合ったりしたことで、社会的事象とのつながりやその背景を考える力を培うことができた。

課題

- 限られた時間の中で、より充実した話し合い活動するための工夫をさらに考えていく必要がある。
〔話し合いのテーマ、タイミングの良い意図的指名、書く活動の精選、作戦タイムの持ち方 など〕